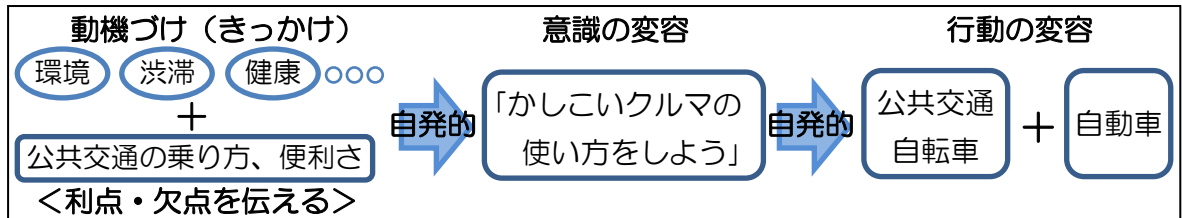


モビリティ・マネジメント教育概要

■モビリティ・マネジメントとは

環境や渋滞、個人の健康等の問題に配慮し、過度に自動車を利用する状態から公共交通や自転車などを『かしこく』使う方向へと自発的に転換することを促す取り組み



■背景

過度な自動車利用や社会情勢の変化に伴い、様々な問題が発生

社会問題：CO2の排出による地球温暖化、大気汚染や騒音、渋滞、交通事故の急増等

公共交通の衰退：バス利用者（輸送人員）の減少、バス路線の廃止

少子高齢化：だれもが歩きやすい環境づくりと自転車や公共交通などの多様な交通手段を快適に利用できる環境を確保・維持することが必要

■モビリティ・マネジメントの目的

モビリティ・マネジメントは、過度に自動車を利用する状態から公共交通や自転車などを『かしこく』使う方向へと自発的に転換することを促すことが目的となります。

実際には、過度な自動車利用の抑制や社会情勢の変化に対応した移動手段の確保に向けて、自転車や公共交通が利用しやすい環境整備とあわせ、職場、学校教育、住民を対象にモビリティ・マネジメントを行うことが効果的であると考えています。

■学校教育におけるモビリティ・マネジメント

保護者等への波及が期待でき、未来を担う子ども達に対して、モビリティ・マネジメント教育を通じ、自動車が環境に及ぼす影響や公共交通機関の重要性を伝えていきたいと考えております。

- 自動車利用が引き起こす様々な問題と「かしこい車の使い方」を知って欲しい。
- 公共交通の良さや大切さをわかってもらいたい。
- 自分たちが住む“藤沢”の公共交通について、理解を深めてほしい。

■モビリティ・マネジメント教育の取組

モビリティ・マネジメント教育の実施にあたっては、子どもたちの教育にプラスになること及び学校や先生達の負担にならないことを前提に、学校で取り組まれている環境、健康・福祉、交通安全等の教育と連携しながら取り組んでいきたいと考えております。

例えば・・・

- 「鎌倉めぐり」などの公共交通を利用した遠足や校外学習
- 自転車の交通安全教室
- 自分たちの住むまちを調べる（社会）
- 総合学習の時間を利用した環境教育

等